



**平成24年度
推薦入試（第1類）**

学 生 募 集 要 項

平成24年4月入学

| | |
|--------|--------------------------|
| 出願期間 | 平成23年12月14日（水）～12月16日（金） |
| 合格者発表日 | 平成24年 2月 8日（水） |
| 入学手続日 | 平成24年 2月15日（水） |

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～

□ 東工大は

東京工業大学(Tokyo Institute of Technology)は1881年設置の東京職工学校、蔵前にあった東京高等工業学校を経て1929年に大学となり、本年(2011年)で創立130年を迎えました。本学は学部学生、大学院学生合わせて約1万人、教職員約2千人を有する、我が国最大の理工系大学です。常に時代の最先端を切り拓き、“頼りになる大学”の役割を果たしてきました。

新しい将来構想として「東工大ビジョン 2009」を策定し「知(ち)、技(わざ)、志(こころざし)、和(わ)の理工人」を育成することを基本方針として、世界的な視野に立って大学力を高め、社会に貢献しうる分野を重点的に強化するとともに新しい価値の創造に挑戦し、発展を目指します。

□ ものづくりから創造へ

東工大は創造性豊かな教育によって、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をはじめ、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。この実績をもとに、確かな基礎力を修得した「創造型人間」の育成を目指しています。“ものづくり教育研究支援センター”を土壌とし、実践の場で“ものづくり”に自主的・主体的に取り組む、確かな基礎学力と深い専門性の修得を訓練する独得のプログラムもあります。サークルの一つであるマイスターが製作した人力飛行機もその一例です。時代の激しい変化に対応する適応能力、人と人とを結びつける統合力をもつ人材の養成が東工大の大きな使命です。

□ 東工大で学べるもの

東工大には、学部(理学、工学、生命理工学)、大学院研究科(理工学(理学系、工学系)、生命理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学、イノベーションマネジメント)があり、理工学に関するあらゆる分野が学べます。また、統合研究院のもとに研究所(資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学、像情報工学)、そして数多くの研究教育施設・センターにより、社会、産業界の要請に応えてきました。「理工へ行くなら東工大」、「学生を採用するならば東工大」です。2011年には新図書館が開館し、より便利で快適な学習環境を提供します。

□ 世界のフロンティアをひらく研究

東工大は先端科学技術、融合領域、新規領域に意欲的に取り組んでいます。多様な分野で多彩な教授・准教授・講師・助教の教員群、研究員が国際的に活躍し、グローバル社会を先導する役割を果たしています。

文部科学省の21世紀COE(Center of Excellence)は、東工大が誇る最も強い研究分野に設けられ、世界の研究教育拠点を目指しました。12のCOEでは、世界最高

水準の研究のもとで、博士課程の大学院教育システム改革を、研究科を越えて行いました。

後継事業のグローバルCOEには、2007年度に5チーム、2008年度に3チーム、2009年度には1チームが採択され、合計9チームが活動しています。

2005年に文部科学省スーパーCOEによる“統合研究院”を設立しました。社会・産業が抱える重要課題解決を図るためです。2010年より新しい統合研究院として、学内外の連携を強め組織的に取り組む東工大発の「ソリューション研究」も推進しています。

□ 特徴ある文系・芸術系教育

東工大では、理工系の専門教育だけでなく、特徴ある文系科目が充実しているのも伝統です。2006年には「世界文明センター」を発足させ、文学、音楽、美術、映像などが学べる仕組みをつくりました。

□ 東工大の得意わざ

2010年にはスーパーコンピュータ“TSUBAME”が“TSUBAME2.0”に進化しました。代表的なスパコン性能ランキングの2つのうち、Green500(電力性能)で世界2位、TOP500(絶対性能)でも世界4位を達成しました。

世界に開かれた若手研究者のためのGlobal Edge Institute、産業界と連携して社会が要請する若手研究人材を養成するプロダクティブリーダー養成機構、国際的リーダーシップの育成を目指して中国・清華大と合同大学院を開設したのに加え、さまざまな国際連携、組織的・戦略的な産学連携などを実施しています。2011年にはグローバル社会を牽引するトップリーダーを養成するグローバルリーダー教育院を設置しました。

東工大は世界大学ランキング(2010年QS)によると、総合では世界第60位、日本第4位にランクされています。

□ 活発なサークル活動

東工大は研究、教育だけでなく、仲間が力を合わせて高いレベルを目指すサークル活動も活発です。

2010年の人力飛行機「鳥人間コンテスト」の4度目の優勝や混声合唱団の13年連続金賞など、その実績はすばらしいものがあります。これらサークル活動に対する国内外での高い評価は、全学教職員、学生を挙げてのみなみならぬ努力の成果です。

東工大は研究・教育の特徴を最大限に活用し、社会と世界の期待に応えます。

どうぞ、東工大にご注目ください

I. 求める学生像

幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

1. 自然界の仕組みについて深く知りたいという夢を持っている人。
2. 教わるだけでなく、自ら学び友人と対話することを好む人。
3. 十分な学力と表現力を持つ人。

II. 募集人員

第1類（理学部） 10人

III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 高等学校又は中等教育学校を平成24年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を平成24年3月修了見込みの者

IV. 推薦要件等

1. 推薦人員

学校長が下記の推薦要件①、②により推薦できる人数は合計2名までとします。
推薦要件③により推薦できる人数は制限がありません。

2. 推薦要件

理学における高い能力を示す下記の①②③のいずれかに該当し、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

- ① 正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし優れた成果を挙げてそれを取りまとめて発表した者。
- ② 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要）、それを取りまとめて校外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者。
課外活動の例1. ○○部のクラブ活動で2年間継続して研究を実施。
課外活動の例2. 夏休みに10日間継続して△△で野外調査を実施。
課外活動の例3. □□年度の東工大スーパーコンピュータコンテストに参加し入賞。
- ③ 数学、物理、化学、地学、情報のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者。

※ 推薦要件①及び②における「優れた成果」とは、学校内で現在及び過去の生徒との比較において特に優れていると学校長が認定できるものを指します。

V. 出 願

1. 出 願 期 間 平成23年12月14日（水）～ 12月16日（金）（12月16日必着）

2. 願書郵送方法 郵送のみ受け付けます。出願書類等は、本学所定の封筒に入れ、必ず「速達書留」扱いで郵送してください。

なお、志願者2名分の出願書類等をまとめて郵送する場合は、1名分ずつ本学所定の封筒に入れて封をしたものを、別の封筒（任意）にとりまとめ「推薦入試願書2名分在中」と明記のうえ、「速達書留」扱いで郵送してください。

※ 出願書類等の提出については、必ず当該学校長からの提出とします。

3. 出 願 書 類 等 出願書類のうち、ア、イ、エ、カ及びキは、本学所定のものを使用してください。

| 出願書類等 | 摘 要 |
|---------------------------|--|
| ア 志願票・ 電算処理票 | 所定のものを使用し、必要事項（太枠内）を記入漏れのないよう明記してください。用紙は切り離さないでください。 |
| イ 受験票・受理 票・写真票 | 受験票・受理票・写真票の必要箇所（太枠内）に志願者の氏名・フリガナを記入し、写真票の写真欄に指定サイズの写真（カラー、白黒問わず）を貼ってください。また、受験票裏面に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、受理票裏面に当該学校の郵便番号・住所・学校名を記入し、それぞれ裏面に50円分の切手を貼ってください。受験票及び受理票発送は12月22日（木）の予定です。 1月3日（火）までに届かない場合は、1月4日（水）以降入試課へ問い合わせてください。 |
| ウ 大学入試 センター試験 成績請求票 | 大学入試センターから交付された、平成24センター試験成績請求票のうち、『 推薦 国公立推薦入試用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。 |
| エ 推薦書 | ・推薦要件① 推薦書（課題研究用） ・推薦要件② 推薦書（課外活動用） ・推薦要件③ 推薦書（国際科学オリンピック用） のいずれかの様式を用いて、当該学校長が記載してください。 様式は本募集要項には添付しておりません。 本学ホームページ（巻末参照）よりダウンロードして（word形式）、作成してください。※注意事項をよく確認したうえで作成してください。 |
| オ 調査書 | 学校長が発行した調査書（厳封されたもの）を提出してください。 やむを得ない事情により、調査書を提出することができない者は本学入試課までご連絡ください。 |
| カ 入学検定料 | 17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行及び金融機関（三井住友銀行を利用した場合は手数料無料）で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。 なお、一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ※ 入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、出願期間前に入試課までお問い合わせください。 |
| キ 住所票 | 志願者及び当該学校の住所、氏名等を記入してください。 |
| ク その他 （該当者のみ） | 日本国籍を有しない者は、登録原票記載事項証明書又はビザの写しを提出してください。 |

4. 障がい等のある志願者は、修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、事前に入試課に申し出てください。

VI. 推薦書記載事項

各推薦要件における推薦書記載事項について

1. 推薦要件① 推薦書（課題研究用）

- ・課題研究を行った科目名（総合的な学習等の一部として行った場合も含む）
- ・課題研究の内容の要約
- ・当該課題研究が特に優れていると判断される理由
- ・学業や人物に関する所見
- ・添付資料及びその簡単な説明（2点以内）

※添付資料（図や写真及びそれらの説明等）はA4で4ページ以内とします。

2. 推薦要件② 推薦書（課外活動用）

- ・課外活動を行ったクラブ等の名称
- ・課外活動の内容の要約
- ・当該課外活動が特に優れていると判断される理由
- ・学業や人物に関する所見
- ・添付資料及びその簡単な説明（2点以内）

※添付資料（図や写真及びそれらの説明等）はA4で4ページ以内とします。

3. 推薦要件③ 推薦書（国際科学オリンピック用）

- ・出場した国際科学オリンピックについて（名称・開催年月・開催場所、入賞記録）
- ・学業や人物に関する所見

VII. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

| 教科 | 科目 |
|------------|--|
| 国語 | 「国語」 |
| 地理歴史 公民 | 「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」 から1科目 |
| 数学 | 「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目 |
| 理科 | 「物理Ⅰ」, 「地学Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」から2科目 |
| 外国語 | 「英語(リスニングを含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1科目 |

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、第1解答科目の得点を用いることとします。

VIII. 合格者発表

1. 平成24年2月8日(水)12時頃本学大岡山キャンパス内講堂脇にて掲示します。この掲示が正式なものですので必ず確認してください。
また、同日13時頃よりホームページ(巻末参照)(PDF形式)にも掲載します。なお、合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。
2. 本学では、合否に関しての電話等による問い合わせには一切応じません。

IX. 入学手続等

入学手続は郵送のみで行います。

手続者は事前に(合格発表後～2月13日(月)までに)本学学務部教務課宛(E-mail: gak.nyutetsu@jim.titech.ac.jp)に必要事項を連絡したうえで、2月15日(水)必着とし、必要書類を速達書留により郵送してください。

なおE-mailによる連絡が困難な場合は電話(03-5734-3004)により連絡してください。

事前の連絡が無く、かつ必要書類が期限までに届かない場合は、入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学手続は一切認められません。

詳細な手続事項は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

1. 入学料 282,000円(予定)は、所定の払込取扱票を用い、金融機関窓口(三井住友銀行を利用した場合、手数料無料)で上記郵送手続に間に合うよう払い込んでください。
入学料免除・徴収猶予を希望する場合は、払い込まず必要書類を郵送してください。
2. 授業料について
 - (1) 授業料は、前期分・後期分各267,900円(年額535,800円)(予定)です。
納入は、前期分5月末まで、後期分11月末までとなっています。
入学後、口座振替での納付となりますので、3月9日(金)に本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。(やむを得ず口座振替での納付ができない場合には、振込取扱票による振込も可。)
なお、授業料免除・徴収猶予を希望する場合もこの手続を行ってください。
 - (2) 授業料は希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせた年額を納付することができます。
 - (3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
3. その他諸経費
 - A 各種保険等(30,000円程度)
 - I その他

X. 入学辞退

推薦入試の合格者の入学辞退は認められません。ただし、特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ、推薦を行った学校長からの「推薦入学辞退願」(様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由を必ず記載)を、本学入試課に提出し、辞退の許可を得てください。提出期限は、郵便による提出の場合は速達書留で平成24年2月13日(月)必着、窓口で直接提出する場合は平成24年2月14日(火)12:00までとします。許可された者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試を受験することが認められます。

XI. 推薦入試出願者の一般入試への出願

本学の推薦入試で不合格となった者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試を受験することができます。その場合に備えて「前期日程」「後期日程」入試それぞれに1つずつ出願しておくことが可能です。ただし、本学推薦入試に合格した場合、本学又は他の国公立大学の一般入試を受験しても合格者の対象とはならないので注意してください。(X. 入学辞退により辞退が許可された者を除く)

XII. 個人情報の取扱い

1. 出願にあたり知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用することがあります。
3. 上記1及び2の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受付番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願にあたり知り得た個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

XIII. 注意事項

1. 出願後の提出書類の内容変更は認めません。記入時には十分注意してください。
2. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
3. 出願書類の情報については、入試及び入試関連業務のみに使用します。
4. 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 最新情報は、ホームページ（巻末参照）で公表しますので、ご注意ください。

メッセージ

創(つくり)拓(ひら)く理系人(りけいびと)たれ

—入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凜とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるもののすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをもっています。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がり可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組みながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさがっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 「理系」であることに「自信」を持っていること。
2. 「理系」であることに「誇り」を持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを活用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかりと自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであると同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を一。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

入学者に求める資質と能力

科学・技術への知的好奇心と探究心を有し、
基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます

東京工業大学は、学士、修士、博士、及び専門職学位の取得を目指す各課程の教育目標に基づいて、充実した基礎教育、教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育、「ものづくり」を基本とする実学教育、創造性を育む実習教育、最先端の研究を核として高度な技術者・研究者を養成する専門教育、国際連携を活用した教育など、世界に冠たる理工系総合大学に相応しい教育を行います。

そこで、本学の各課程では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

学部(学士課程)

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している。
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる。
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している。
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103

TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 除く))

東京工業大学HP <http://www.titech.ac.jp/>

東京工業大学入試課HP <http://www.titech.ac.jp/prospect/index.html>

